

逆紹介推進！

～患者の安心・医師の働き方・病院経営向上～

逆紹介推進プロジェクトチーム

2023年8月から逆紹介推進プロジェクトチームを設置し、当院の外来患者さんを地域のかかりつけ医へ逆紹介する活動を実施してきました。

2025年度は、さらに逆紹介を効果的・効率的に実施するために、開業医の先生方を対象に逆紹介に関するアンケートを実施しました。

アンケート結果から、今後の取り組みの課題を明確にしましたので報告をします。今後の活動に際し、地域の開業医の先生方のご理解とご協力をお願いいたします。

取り組み背景

外来患者の増加、待ち時間延長、駐車場の混雑

外来患者の増加により、診療までの待ち時間が延長する。その結果、院内の患者が滞留し、駐車場の混雑につながる。また病診の予約待ち時間の延長につながる。



医師の働き方改革

医師の時間外勤務時間を減少するためにも、外来診療の効率化を図り、高度で専門的医療に専念できる時間を確保する必要がある。



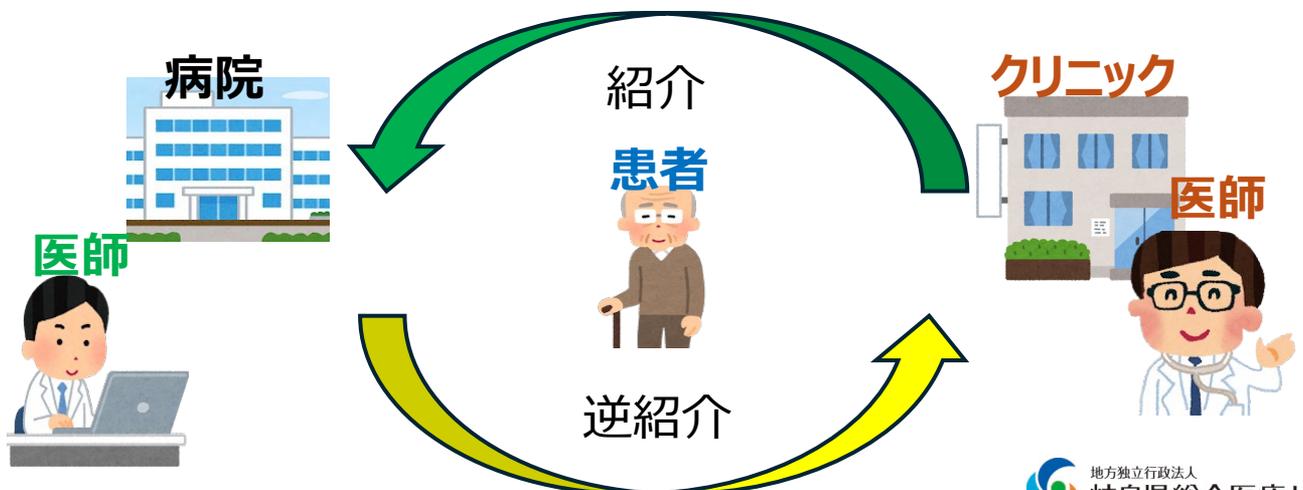
病院経営の貢献

逆紹介を推進し、専門的治療を必要とする新規紹介患者を受け入れることにより、急性期病院としての役割を果たし、病院経営に貢献できる。



ミッション！

逆紹介を推進し、新規患者を受け入れる！



開業医アンケート結果

目的

紹介・逆紹介及び地域連携について現状を把握し、課題を明確にし対応策を検討する

方法

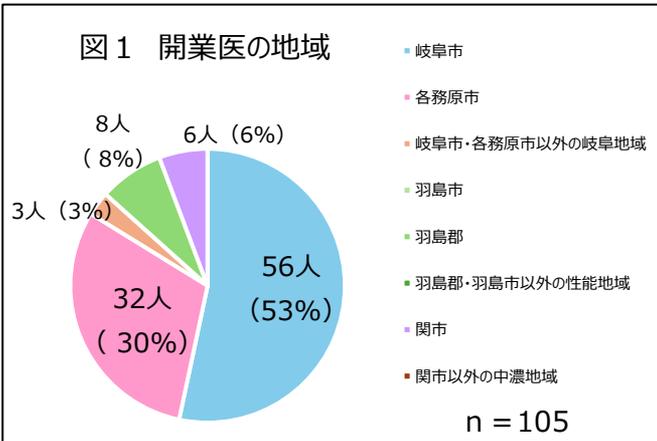
- 対象：当院へ年間10人以上紹介していただいている開業医 328施設
- 方法：アンケート内容をQRコードにして、ハガキにて郵送
- アンケート内容
 - 1) 基本情報 (2問)
 - 2) 当院への紹介状況 (5問)
 - 3) 当院への逆紹介に関する実態とご意見 (5問)
 - 4) かかりつけ医紹介窓口について (2問)
 - 5) 今後の連携強化に必要な支援 (2問)
- 分析
 - ・クロス集計、 χ^2 乗検定 (P値は5%未満を有意)、自由記述はテキストマイニング後カテゴリー化
- 倫理的配慮
 - ・無記名による回答。アンケートに回答により同意を得たものとする。



結果

1. アンケート有効回答率 32% (105/328施設)

2. 開業医の地域



3. 紹介患者の人数

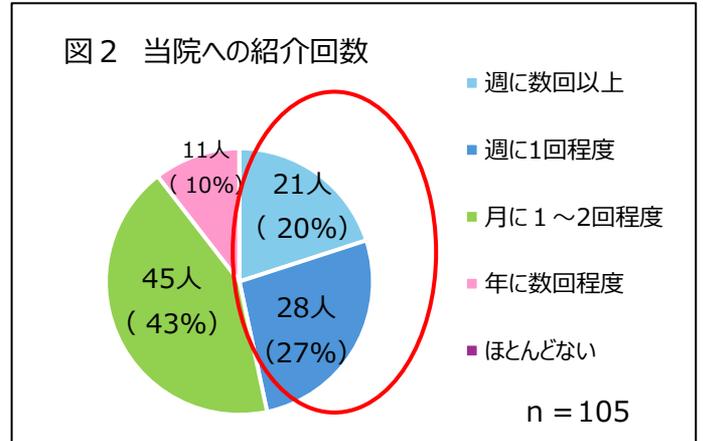
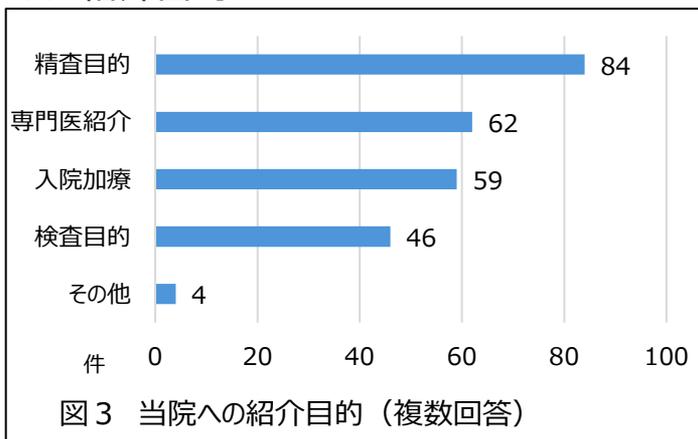


図1 開業医の地域は、岐阜市、各務原市で83%を占めていた。

図2 当院への紹介患者の人数は、週に1回~数回以上が、47%を占めていた。

【当院への紹介状況】

4. 紹介目的



5. 当院への紹介基準

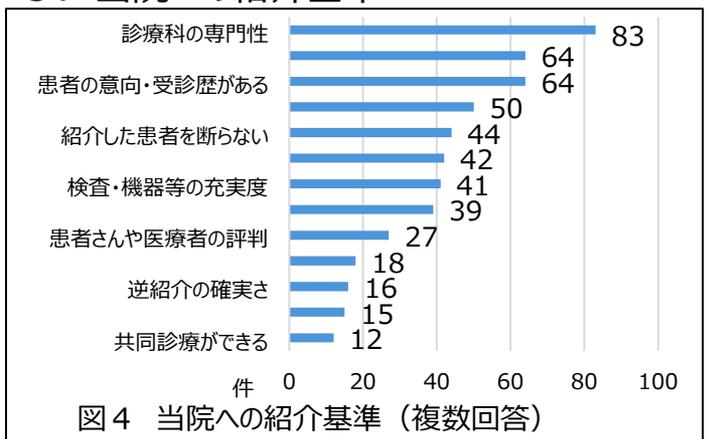
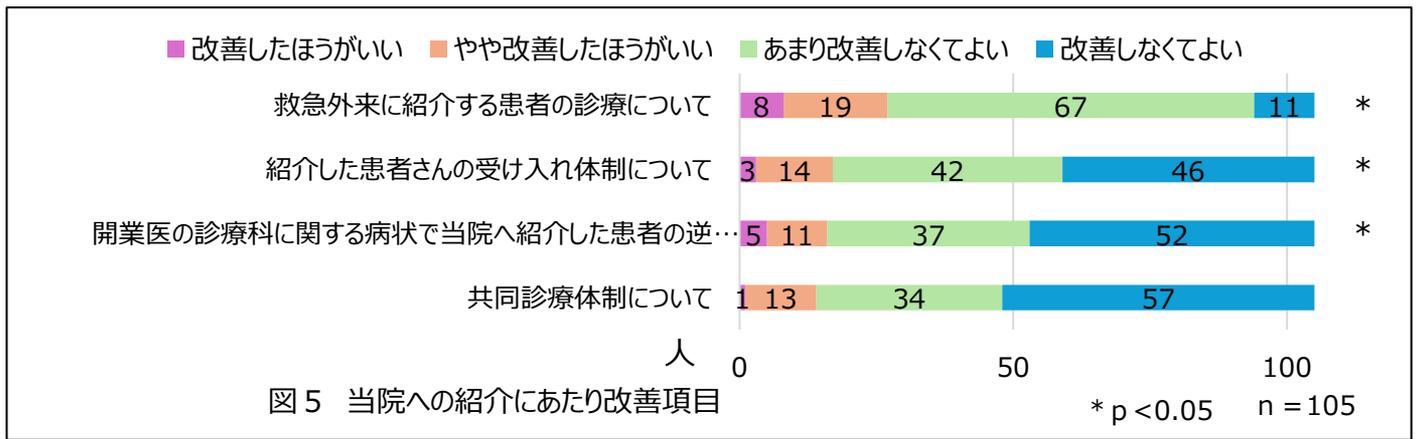


図4 当院に患者さんを紹介するための選択基準は、診療科の専門性が83件と一番多く、次いで、患者さんが抱える疾患に対して診療科64件、患者さんの意向・受診歴がある事64件、患者さんが通いやすい距離50件とその他順であった。

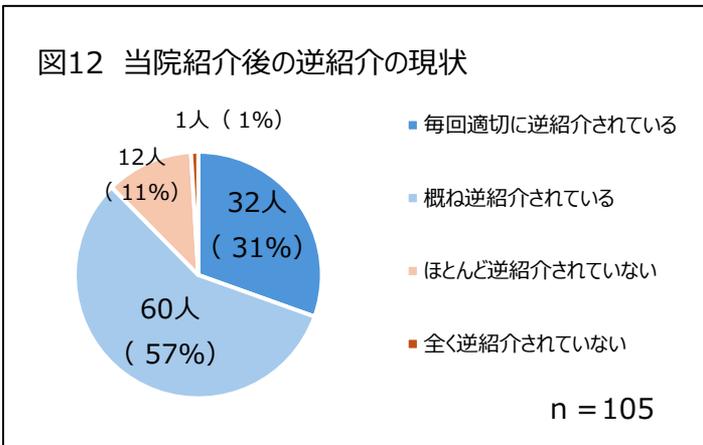
6. 当院へ紹介にあたり改善項目



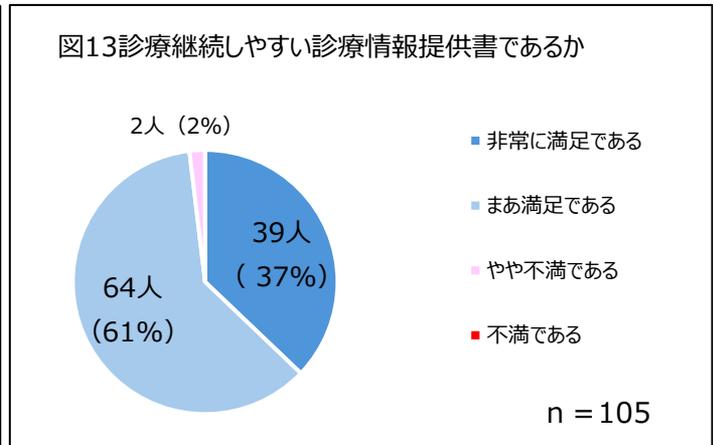
当院への紹介頻度が高い開業医ほど、紹介した患者さんの受け入れ体制、当院へ紹介した患者さんを逆紹介すること、救急外来に紹介する患者の診療についての対応が有意に多かった。

【当院の逆紹介に関する実態とご意見】

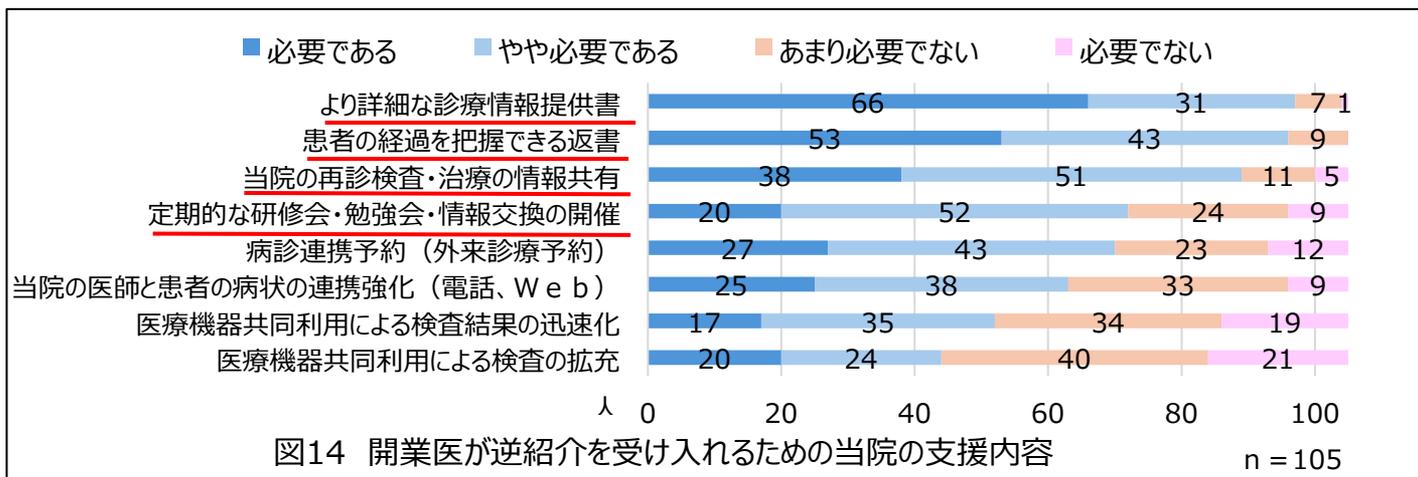
7. 当院からの逆紹介について



8. 診療継続しやすい診療情報提供書



9. 逆紹介を受け入れるにあたり当院が行う支援内容について



開業医は逆紹介を受け入れるにあたり当院が行う支援内容について、より詳細な診療情報提供書97人、患者の経過を把握できる返書96人、当院の再診検査・治療の情報共有81人と必要性が高いと回答していた。次いで定期的な研修会・勉強会・情報交換の開催が72人と回答していた。

10. 地域連携についてのご意見

・開業医の皆さまから、さまざまご提案やご意見いただいた。これらの意見をもとに改善に取り組む。

考察

地域支援病院としての
役割

緊急時の受け入れや
スムーズな検査予約

病院



医師



タスクシフト・シェア

かかりつけ医窓口



開業医の特徴・強みを
把握し、情報提供

紹介

患者



患者さんの
安心

逆紹介

クリニック



医師



地域との連携は
図られている

患者さんの診療継続を可能と
するための情報共有、最新の
知見を高める機会も必要。

- ・開業医からの紹介について、診療科の高度で専門的な検査・治療を実施することに対する選択基準が高いことは、当院が急性期病院としての役割を果たしていることにつながる。
- ・逆紹介については、診療情報提供書は概ね適切なタイミングであり、内容も継続しやすい結果で、地域との連携も図れている。
- ・支援内容は、診療情報提供書や返書の要望が高く、開業医の先生方が継続して診療を可能となるような情報共有の強化が必要。また研修会、勉強会など新たな知見を得るための機会の要望が高く、患者さんを受け入れるためのセミナーなどの必要性が高い。

課題

地域医療支援病院とは・・・

【目的】地域の診療所や一般病院から紹介された患者さんに対して、専門的な治療や検査を提供すること

【役割】かかりつけ医では対応が難しい疾患や症状のある患者さんに適切な治療を行い、地域全体の医療体制を支える

【紹介】

- ・紹介受け入れについて、スムーズな救急外来の対応
- ・検査のWEB予約の検討

【逆紹介】

- ・確実な診療情報提供書、返書の情報共有強化
- ・継続的な研修会や勉強会の開催

【患者支援】

- ・安心を提供できるかかりつけ医紹介窓口の強化

【院内連携】

- ・タスクシフト/シェアの推進

当院が地域医療支援病院として役割を果たすために、紹介受け入れにおいてはスムーズな救急外来の対応や検査のWEB予約の検討をしていくこと。逆紹介においては、確実な診療情報提供書・返書の情報共有強化していくこと。また継続的な研修会や勉強会の開催を行い、新しい知見を高め、患者にとって最良の医療提供ができるようにしていく必要がある。さらに患者さんが安心して“かかりつけ医”を持てるように“かかりつけ医紹介窓口”の機能を高めていく必要がある。

